

オリンピック出場の内田美希選手

明和町では、5月26日内田美希（うちだみき）選手のオリンピック壮行会を中央公民館で開催しました。多くの関係者を招き内田選手に応援の言葉を戴きました。この日は午前中、こども園・東西小学校を回って戴き、午後1時から群馬県知事表敬訪問。そして午後4時から関係者や中学生代表を招いての盛大な壮行会でした。また、今回は明和町役場青年部のメンバーが内田選手に応援団として応援エールを贈り会場を大いに盛り上げました。

オリンピックの大舞台で魅せたプライド

8月7日の午前3時過ぎから明和町は興奮の中にありました。本町出身の内田美希選手が、リオデジャネイロ五輪水泳400メートルリレー予選に出場するため、町内有志一同が産業文化館で真夜中の応援会を実施したためです。内田選手は、堂々の日本代表として今回のオリンピックに誇りとプライドを持って臨んだ事と思います。内田選手はリレーのトップバッターとして予選1組のトップでバトンを第二泳者につなぎました。その堂々とした「泳ぎっぷり」に館内の興奮は最高潮に達しました。

現役アスリートにはつきもの

しかし、内田選手のこれまでの道のりは決して平坦ではありませんでした。アスリートにとって怪我との戦いはどうしても避けられないものがあるのですが、スポーツ選手特有の故障に見舞われ体力と気力とのせめぎ合

いの中にいました。実は内田選手は椎間板ヘルニア・腰痛に悩まされ、今シーズン限りでの引退を決意して臨んでいました。競泳だけが人生ではないですし、今まで競泳で頑張ってきたことも無駄にはならないので、競泳をもし引退しても違う道で頑張りたいと思います。

日本記録保持者が堂々と見せた勝負の世界

個人種目での出場を目指して臨んだ、本年4月の日本選手権2016。惜しくも派遣標準記録には届かなかったものの、個人100メートル種目のオリンピック出場も果たしました。リレーメンバーでの出場と3種目に出場を決めて見せました。その日本選手権では、内田選手がスタートから飛ばしに飛ばして！53秒88で日本記録を塗り替え、しかも隣で泳いだ池江璃花子選手を下しての優勝でしたから、説得力がありました。これまで自身が第一人者として保持していた日本記録を、隣で泳いだ池江選手に2016年2月に破られましたが、4月の日本選手権大会決勝では日本新記録で女王の座に返り咲きを果たしました。それも伸び盛りのライバルの隣で見事な「勝ちっぷり」を魅せてくれました。内田美希選手は、21才とまだ若いので、2020年の東京オリンピックでの活躍も期待したいところなのですが、なんと内田美希選手は今季限りで引退を表明しています。本当でしょうか？現在大学4年生ですから、卒業すると同時に競泳から離れるということなのではないでしょうか？彼女は「池江選手が出てこなければ、東京五輪まで競技を続けていたかもしれない」と語っています。池江選手が自身を脅かす存在になったからこそその「引退決意」かも知れません。日本水泳短距離界の女王の座を譲れる存在が出てきたからこそ、自分の後継者

として「安心して引き渡せる気持ち」なのだと思います。メダルこそ逃しましたが、ロンドン大会、リオデジャネイロ大会と2大会に出場した彼女の経験は、今後の人生の中で貴重な体験として光り輝き続け、大きな糧となることでしょう。今後の人生も大いに頑張ってもらいたいと思います。そして内田美希選手大変お疲れ様でした。ゆっくり体を休めてから2020の東京で勝負の世界を魅せるかどうかをもう一度考えてみましょう。

内田選手メモ

内田選手は1995年2月21日生まれ。明和町出身。現在は、東洋大学在学中。高3で2012ロンドン五輪にリレーメンバーとして出場。そして2016リオデジャネイロ五輪には100メートル自由形・400メートルリレー・400メートルメドレーリレーに出場。身長は173センチでモデル並みのスタイル。女性としてはその背の高さは気にしつつも、最近はそれを個性だと思うようになり、ヒールを履かなくて済むという点は楽だと感じているようです。

平成28年8月22日

明和町長 富塚もとすけ